

新庁舎建設だより 2

新庁舎実施設計の概要をお知らせします

広報南九州2月号では、実施設計の完了に伴う新庁舎建設事業の事業費や国の支援および市の実質的な負担額についてお知らせしましたが、4月号と5月号では、設計コンセプトや外観、内観など実施設計の概要版の一部を紹介します。

なお、市ホームページには「新庁舎建設実施設計書 概要版」を公開していますので、併せてご覧ください。

実施設計【概要版】はコチラからご覧いただけます。⇒



【外観デザイン】

■外観イメージ



※イメージ図は現時点のものであり、今後変更となる可能性があります。

建物の東面、南面、北面を開放的な外装とし、まちや風景と一体感のある外観デザインとします。グレーを基調とした色彩計画により、周辺環境との調和を目指します。また、日射遮蔽効果のある深い庇とルーバーを建物の外周に設けることで、断熱効果を高めるデザインとなります。

【内装デザイン】

■エントランスロビーのイメージ



■議場のイメージ



南九州市の木材を採用した木の温もりが感じられる空間づくりと落ち着いた色彩計画により、南九州市の歴史や文化、豊かな自然を感じることができる内装デザインとします。

【ユニバーサルデザイン】

■思いやり駐車場（屋根付き）



■多目的トイレ（オストメイト付き）



■点字ブロック



車椅子利用者や杖使用者に配慮したデザイン

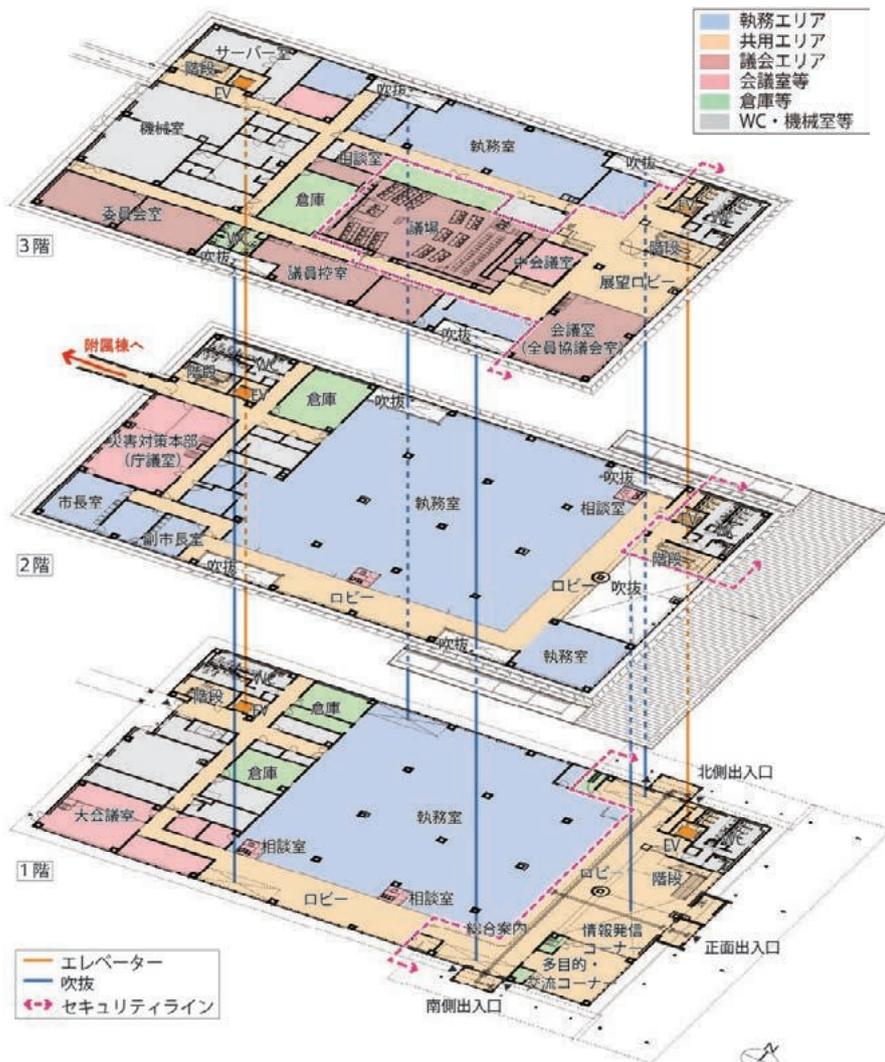
建物内は通路幅を確保し、段差や勾配となる床面をつくらぬ計画とします。また、オストメイト付きの多目的トイレを各階に計画します。屋外は、建物の入口に近い位置に障害のある方優先の屋根付きの思いやり駐車場を配置し、雨天時にも濡れずにアクセスできる計画とします。

視覚障がいの方や聴覚障がいの方に配慮したデザイン

建物出入口や総合案内まで安全に移動できるよう、点字ブロックを設置します。避難誘導灯は音声・点滅機能付きとし、音声や点滅によって視覚的・聴覚的に避難を知らせる器具を設置します。

【平面計画】

■各階平面構成図



利用しやすいフロア構成

総合案内を設置し、窓口のワンストップ化を図るなど市民サービスの向上を目指します。

関連部署を集約化し、分かりやすいサイン（案内表示）とすることで利用しやすいフロア構成とします。

■窓口（総合案内）のイメージ



市民利用スペースの充実

1階の多目的・交流コーナーや3階の展望ロビーは市民利用スペースとして、議場は講演や研修など多目的に利用ができる移動式を採用し、閉庁時でも市民が利用できる計画とします。

イベント時には南側の広場と一体的な空間として利用できる計画とします。